



令和4年度

# 12月 三大幼だより

江東区立第三大島幼稚園

園長 貞方 敦子

令和 4年 11月 30日

三大幼 HPは  
こちらから

## 言語化すること

園長 貞方敦子

先月の11月24日に江東区教育委員会(地域教育支援課)と江東区立幼稚園PTA連合会の共催で家庭教育講演会が開催されました。コロナ禍ということも考慮し、参集及びWeb会議システムによるハイブリット形式での講演会でした。この講演会を開催するにあたり、今年度、区幼P担当の亀戸・大島ブロックのPTAの会長さん方が7月から計画し、この日を迎えました。保護者の方の企画力・そして、チーム力に改めて、すごいなと思ったところです。

さて、当日は、一般社団法人 アンガーマネージメントジャパン 代表理事 佐藤恵子先生をお招きし、「子どもとの関係に活かすアンガーマネージメント」という演題でご講演いただきました。私も教育センターで参加させていただいたのですが、もっと聴きたい! 勉強したい! と思う、講演内容でした。

今回の講演目的は、『アンガーマネージメントの基本を学び、自己理解を深め、子ども理解に活かし、イライラしない子育てを目指す』です。まず、先生から「アンガーマネージメントとは、怒りの感情を抑え込んだり、我慢したりする方法ではありません。自分の怒りの感情に気づき、その感情を弱め、怒りの感情を起こす自分の「考え方」を変えていくことです。そして、感情をコントロールし、適切なコミュニケーションや問題解決をしながら、より良い人間関係を築けるようにしていくこと」との話がありました。こどもとの関わりにおける大人の対応の仕方やスキルなどもたくさん教えていただきましたが、大事なことは、大人である私たちが、こどもたちの言動の裏にある気持ち(感情)を受け止め、言葉にしてあげること。つまり、感情の言語化を手伝うことであります。身体感覚と感情の言葉をつなげること、こどもの心の声を聴くことなど、傾聴の大事さを改めて感じました。聴いてもらえた、わかってもらえたという感覚(実感)がなければ、傾聴にはつながりません。そして、私たち大人は、自分の考え方のくせを知ること、考え方の幅を広げたり、考え方をゆるめたり変えたりすることができ、相手に関わる時の対処法を見つけていくことができます。まずは、自分を知ること、自分の感情を俯瞰することです。これも日々、訓練だなあと私自身は思いました。こどもたち一人一人の言動の裏にある気持ち(感情)をしっかり受け止めていくこと、その感情を言葉にしていくこと、言葉を通して理解し合うこと、を一つ一つの場面で大事にしていきたいと思えます。こどもたちとの生活を通して、感じ、学ぶことがたくさんあります。今後も、保護者の方と共に、こどもたちの心の声を受け止め、理解していきたいです。

## 今月の指導のポイント

### 年中りんご組

朝晩の冷え込みが厳しくなってきましたが、りんご組のこどもたちは短縄やボール遊び、しっぽとりなど、友達と一緒に楽しむ姿が見られます。今月も引き続き、寒さに負けず友達と戸外で体を動かすことを楽しめるようにしていきます。

また、友達と一緒に遊びに使う場やなりきるためのアイテムを作り、互いに自分の思いや考えを出しながら遊ぶ姿が見られます。好きな遊びだけでなく、学級全体で行う活動でも、表現遊びに取り組み、学級の友達と一緒にお話のイメージの中で動くことを楽しめるようにしていきます。

今月から温飯器の使用が始まります。約束事を知り、安全に使えるようにしていきます。同時に、寒くてもポケットに手を入れないことといった、冬の生活の仕方にも気付いていけるようになります。冬休み前には、自分たちの使った場を整えたり、冬休み後に使えるように整理したりして、気持ちよく新年を迎えられるようにします。

### 年長にし組

こども会の取組では、それぞれのグループが表現の仕方を自分たちなりに考え、友達と一緒に進めることを楽しんでいます。劇で演じる幼児はその役になりきるためにはどう動くか、良いのか、割ピン人形やペープサートではどうやって動かすと本当に動いているように見えるかなどを考えながら取り組んでいます。他のグループに見てもらおうことで、「この動きがよかった」「ここをこうするともっと良くなるよ」などの言葉を受け止め、「次はこうしてみよう」「ここの動きを考えてみよう」と刺激を受け合う姿も見られます。友達と互いに思いを伝え合いながら友達の良さにも気づき、学級としてこども会を進めていけるようにしていきます。

年末に向って、お楽しみ会を楽しみにしたり、大掃除をする必要性に気付かせたりしながら、新しい年を迎えることを知らせていきます。